

2024年6月7日

私立大学図書館協会西地区部会加盟館 様

私立大学図書館協会西地区部会
部会長校・研究会運営委員会委員長校
中部大学附属三浦記念図書館 館長 木村秀明

2024 年度私立大学図書館協会西地区部会総会開催のご案内と 2024 年度西地区部会研究会開催予告

このたび、会則第29条により2024 年度私立大学図書館協会西地区部会総会開催についてご案内いたしますので、館務ご多忙のところ恐縮ですが、ご出席をお願い申し上げます。

総会では、部会加盟館の状況、事業報告、決算報告を踏まえ、各地区協議会理事校を中心とした役員会によって練られた事業計画、予算をご審議いただきます。事前配布資料による審議（フォーム回答）となりますが、ご意見を伺えるよう、フォームを準備いたしておりますので、忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。

なお、事業計画には例年により部会研究会がございます。研究会につきましては、役員会にて承認された発表内容について準備を進めておりますところ、開催予告としてご案内を差し上げます。総会決議前ではございますが、なにとぞご理解のほどお願い申し上げます。なお、この度の研究会企画・実施について、当番校金沢工業大学様のお骨折りに厚く御礼申し上げます。

記

1. 総会開催案内

審議期間：2024年6月14日～6月19日 午前まで

審議回答：下記フォームにて期間内にお願ひします。

議事資料：2024年6月14日 午後にHP掲載いたします（加盟館限定）

資料掲載ページ <https://www.jaspul.org/west/conference/index.html>

*パスワード【soukai2024】

回答フォームURL <https://forms.gle/VGbTZKnc4vmCMSyJA>

2. 西地区部会研究会開催予告

テーマ：変わる（変わらなければならない）大学図書館
～これからの大学図書館像～

開催方式：Zoomウェビナー

*補助的にYouTubeのライブ配信とオンデマンド配信（限定公開）

参加申込：下記URLよりフォームにて申し込み（個人単位）

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_RY3ARy2ITBa0SUjRzuY-DQ

申込期間：2024年6月10日（月）～6月19日（水）

*申込み頂いた方に参加詳細情報をお送りします。

お問い合わせ

総会：中部大学附属三浦記念図書館

chubu-shitokyo@office.chubu.ac.jp

研究会：金沢工業大学ライブラリーセンター

shitokyo2024@mlist.kanazawa-it.ac.jp

2024年度私立大学図書館協会西地区部会研究会
変わる（変わらなければならない）大学図書館
～これからの大学図書館像～

2024年6月21日（金） 13:00開始

大学図書館を中心にラーニングコモンズが整備されてきた一方で、コロナ禍で図書館の電子化が進み、大学設置基準に自習室や閲覧室、書庫等を備えることが明記されなくなるなど、大学図書館を取り巻く環境は大きく変化している。また、学術雑誌の高騰による図書館予算の圧迫が続き、人件費の削減や外部委託の動きも広がっている。これからの大学において図書館が担うべき機能・役割や組織・運営体制の在り方など、新たな大学図書館像について、既に変更し始めている大学図書館や発表校の事例・考えを共有し、各加盟館が“変わる”ための一助としたい。

13:00 開会 西地区部会 研究会当番校
金沢工業大学ライブラリーセンター 館長 出原立子

13:05～13:55 研究発表（1）
「電子資料と図書館～2023 年度西地区部会総会「承合事項」報告書の再分析～」
京都外国語大学附属図書館 宮杉 浩

13:55～14:45 研究発表（2）
「大同大学図書館 配架レイアウト変更とその効果」
大同大学図書館 山形容子

14:55 閉会

開催方式 : Zoomウェビナー
* 補助的にYouTubeのライブ配信とオンデマンド配信（限定公開）
参加申込 : 下記URLよりフォームにて申し込み（個人単位）
https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_RY3ARy2ITBa0SUjRzuY-DQ
申込期間 : 2024年6月10日（月）～6月19日（水）
* 申込み頂いた方に参加詳細情報をお送りします。

* 企画：2024年度 私立大学図書館協会西地区部会研究会運営委員会 *
（中部大学、京都外国語大学、京都薬科大学、金沢工業大学）

* お問い合わせ *
金沢工業大学 ライブラリーセンター
shitokyo2024@mlist.kanazawa-it.ac.jp / 076-294-6428

私立大学図書館協会 2024年度西地区部会研究会発表要旨

研究発表（1）

電子資料と図書館

～2023年度西地区部会総会「承合事項」報告書の再分析～

京都外国語大学附属図書館 宮杉 浩

コロナ禍を機に、図書館に来館しなくても利用できる電子資料の重要性が増し、リモートアクセス等様々な対応手段が発展するなか、利用者に対していかに電子資料を提供できるのかは大学図書館が現在抱える大きなテーマの一つである。そして京都外国語大学附属図書館もご多聞に漏れず、電子書籍、電子ジャーナルおよび契約データベースといった電子資料の利用促進をいかに進めていくかが大きな課題の一つとなっている。

利用促進策として、利用者への提供コンテンツの充実が一つの方策であるが、本学については特に電子書籍の明確な選書基準の制定や運用方法の整備が不十分であると考えており、その解決の足掛かりとして昨年2023年度西地区部会総会で各加盟館の現在の状況を伺いたく、承合事項を提出し、採択されたものである。今回の承合事項の結果は、本学にとって大変有意義なデータを得る貴重な機会となり、また各加盟館におかれても、電子資料の運用についてやはり課題を抱え、その解決のために様々な取り組みをされていることを窺い知ることができた。

今回、昨年度提出した承合事項報告書を基に、さらに詳しく分析し報告させていただくとともに、本学が現在行っている取り組みについても触れさせていただく予定である。

この発表が、加盟館にとって電子資料運用における一助に少しでもなれば幸いである。

研究発表（2）

大同大学図書館 配架レイアウト変更とその効果

大同大学 山形 容子

大同大学図書館は、大同学園創立50周年の記念事業として1989年に本学建築学科の笠嶋泰教授の設計で建設された。収蔵能力25万5千冊、4階建（4階は会議室）。帆船をモチーフとした外観であり、1991年の名古屋市都市景観賞を受賞している。

近年、本館は時の経過とともに情報が陳腐化した技術書や講義用に用意された副本を大量に抱えて書架が飽和状態になっており、適切な除籍を実施して状況を改善することが望まれていた。2021年度以降、年間5千冊から1万冊の大量除籍を実施して書架スペースが生まれ、配架レイアウト変更が可能になった。

配架レイアウトの調整・変更は大量除籍と並行して2023年度から行われ、変更の目的は次の4点である。①南海トラフに備える②学生や教職員が使いやすい図書館にする③書架が過密状態になっている分野の状態を緩和する ④建築分野の図書は配架が2階東側書架と西側書架に分断されているので西側書架に集めて配架する

配架レイアウト変更を行った箇所の学生の貸出状況（冊数・利用者数・所属学科別利用者数）を前年度同時期と比較したところ、冊数、利用者数は多くの箇所で前年度同時期比が1.5倍～3倍に増加し、変更前よりもより広い学科で利用されるようになった良好な効果があった。

また、館内案内図や書架表示などのサインを工夫し、館内をより美しく、探しやすくした。

この研究発表ではこれらについて報告を行い、今後の展望について考察する。

変更前の配架レイアウト概要：

- 1階：辞書、事典などの参考図書／ 白書、年鑑 / 講義用指定図書
- 2階：理工系の図書／ 学生の希望による軽読書用小説など（アクティブラーニング配架）
- 3階：人文系の図書／ 資格・就職試験問題集／ 洋書／ 新着雑誌（製本前の1年分）
- M4階：製本雑誌集密書架

主な変更方針

- ・1階に津波での損失後に入手が容易な消耗品的な図書や、図書館の玄関からアクセスが良く、すぐに資料を閲覧できる場所が望ましい利用頻度が高い図書を配架する。
- ・3階に利用頻度は低い長期所蔵の価値がある参考図書を配架する。
- ・2階アクティブラーニングにこの場所の用途に合い活用が見込まれる講義用指定図書、教職用図書（中学高校の教科書を含む）、語学学習用図書を配架する。

変更後の配架レイアウト概要：

- 1階：軽読書用の小説など／ 資格・就職試験問題集／ 白書、年鑑／ 新着雑誌1年分
- 2階：理工系の図書（大量除籍・大移動）／
講義用指定図書（アクティブラーニング配架）
- 3階：人文系の図書 / 情報分野の図書 / 辞書、事典などの参考図書／ 洋書
- M4階：製本雑誌集密書架